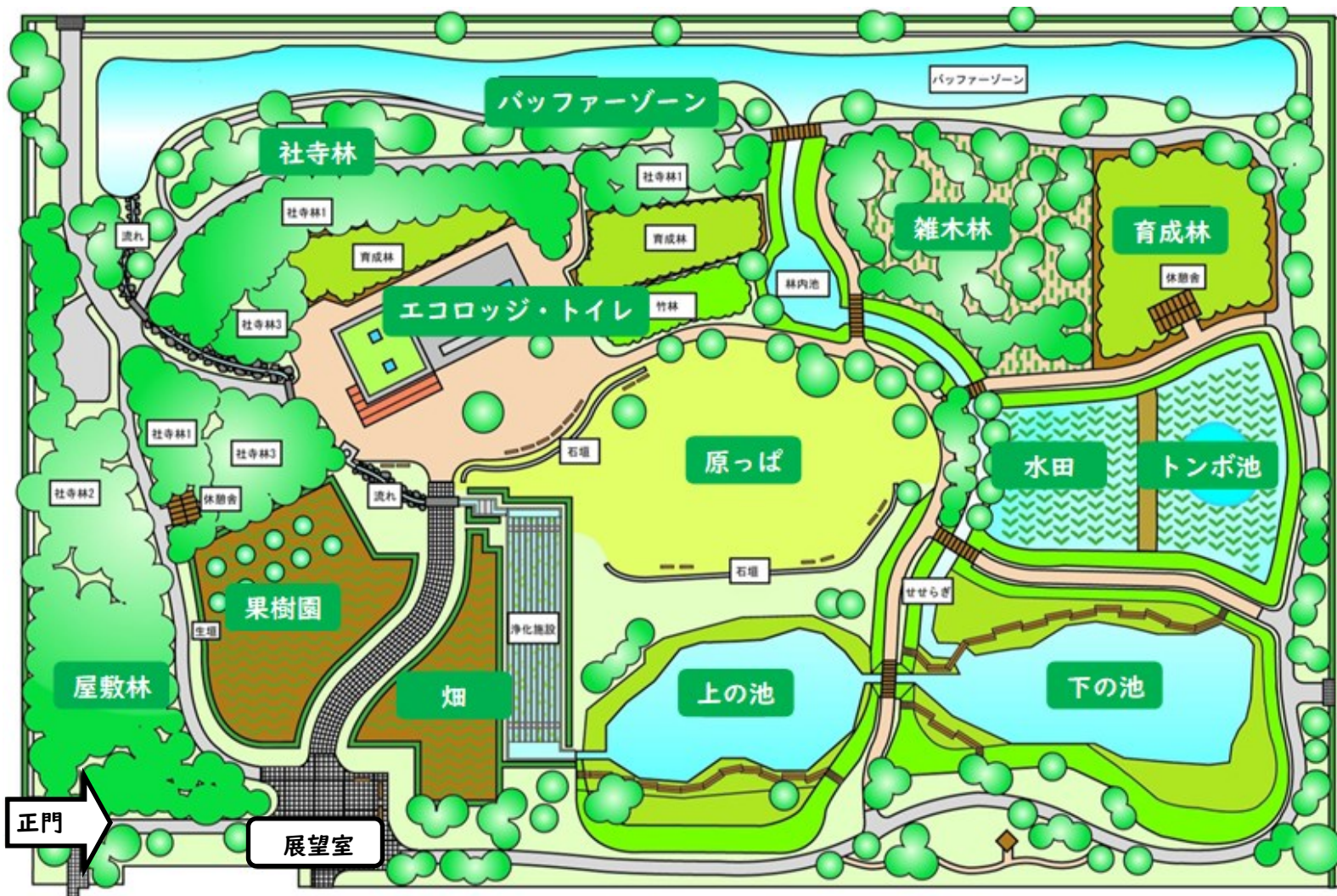


生態園マップ～2026夏編～

きせつ <季節のできごと>


はたけ さといも そだ しよくよう こうかがく こうかがく しよくぶつ ひがい かんさつ
畑ではアサガオや里芋などを育てています。これは食用ではなく、光化学オキシダント(光化学スモッグ)の植物への被害を観察するた
めです。よく見ると葉っぱの表面が変色しているものがあります。これらは光合成をするときに二酸化炭素と一緒に光化学オキシダントを
す こ さいぼう ひがい う
吸い込み、細胞に被害を受けたことによるものです。



ヤマトタマムシ



たいちょう
体長3～4cmほどで、
からだぜんたい
体全体がキラキラと輝く
うつく こんちゆう みどりいろ
美しい昆虫です。緑色
きんぞくこうたく からだ ほん
の金属光沢の体に、2本
あか はい
の赤いラインが入っている
とくちょう なつ あつ
のが特徴です。夏の暑い
にっちゆう かつどう つよ
日中に活動するため、強
ひざ
い日差しにさらされます
からだ ひょうめん きんぞく
が、体の表面が金属のよ
かがや ひかり
うに輝くことで、光を
はんしゃ ねつ からだ まも
反射し、熱から体を守っ
い
ていると言われています。

SNSで情報配信中 



 Instagram



 YouTube

CESSチャンネル

じゆえき
クヌギの樹液

クヌギはブナ科の落葉広葉樹で、カブトムシやクワガタが集まる木として知られています。クヌギの木の樹液をカブトムシ(メス)、コガネムシ、ゴマダラチョウ、スズメバチが吸いに來ています。木から染み出た樹液は、お酒が発酵したような匂いがします。この匂いに誘われて、たくさんの生き物がこの木に集まります。

カブトムシのオスはいませんね。オスは硬い体と丈夫な角を持ち、闘争心も強いので、他の昆虫を押しつけてしまいます。そのため、オスのいない時に他の昆虫がくるようです。

★注意：クヌギの木の樹液はスズメバチも大好きです。観察する際は十分にお気をつけください。



なつ こんちゆう
夏の昆虫

生態園には夏を代表する昆虫がたくさんいます。虫たちにとって生態園は安心して過ごせる場所です。来年も見られるように、観察したら生態園に戻しましょう。

カブトムシ



オスの頭と胸にある立派な角が、戦国武将が身につけた「兜」に似ていることが名前の由来です。この角は、樹液をめぐるオス同士のケンカで使われます。

ギンヤンマ



体長は約7~8cmで、日本全国で見ることができ、大型の美しいトンボです。腹部の付け根が銀色を帯びた水色に輝くことから「ギンヤンマ」と名付けられました。

アブラゼミ



セミの多くは透明の翅ですが、アブラゼミの翅は前後とも不透明の褐色をしていて、世界でも珍しい翅全体が不透明なセミです。「ジリジリジリジリ」の鳴き声は暑さを倍増させます。